



2019.3.15

個人投資家向け説明資料

小野建株式会社

証券コード 7414



目次

- 当社概略、取扱い品種、鉄の使用例、福岡での納入実績
- 商品の流れ、当社所有の物流センター、小野建の市場占有率
- 小野建の事業戦略、2019年3月期の動向
- 2019年3月期の足元の状況と今後の見通し、業績推移
- 株主還元・株価指標について

本資料および将来の見通しに関する注意事項

本資料は事業内容等に関する情報提供を目的としており、当社株式への投資を推奨するものではありません。また、資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

会社概要

商号

小野建株式会社

設立

1949年8月

代表者

小野 建

資本金

40億6,230万円

連結売上高

2,031億5,100万円

従業員

664 人(連結)

上場取引所

東京 ・ 福岡(7414)

本社

福岡県北九州市

業種

鉄鋼・建材流通商社



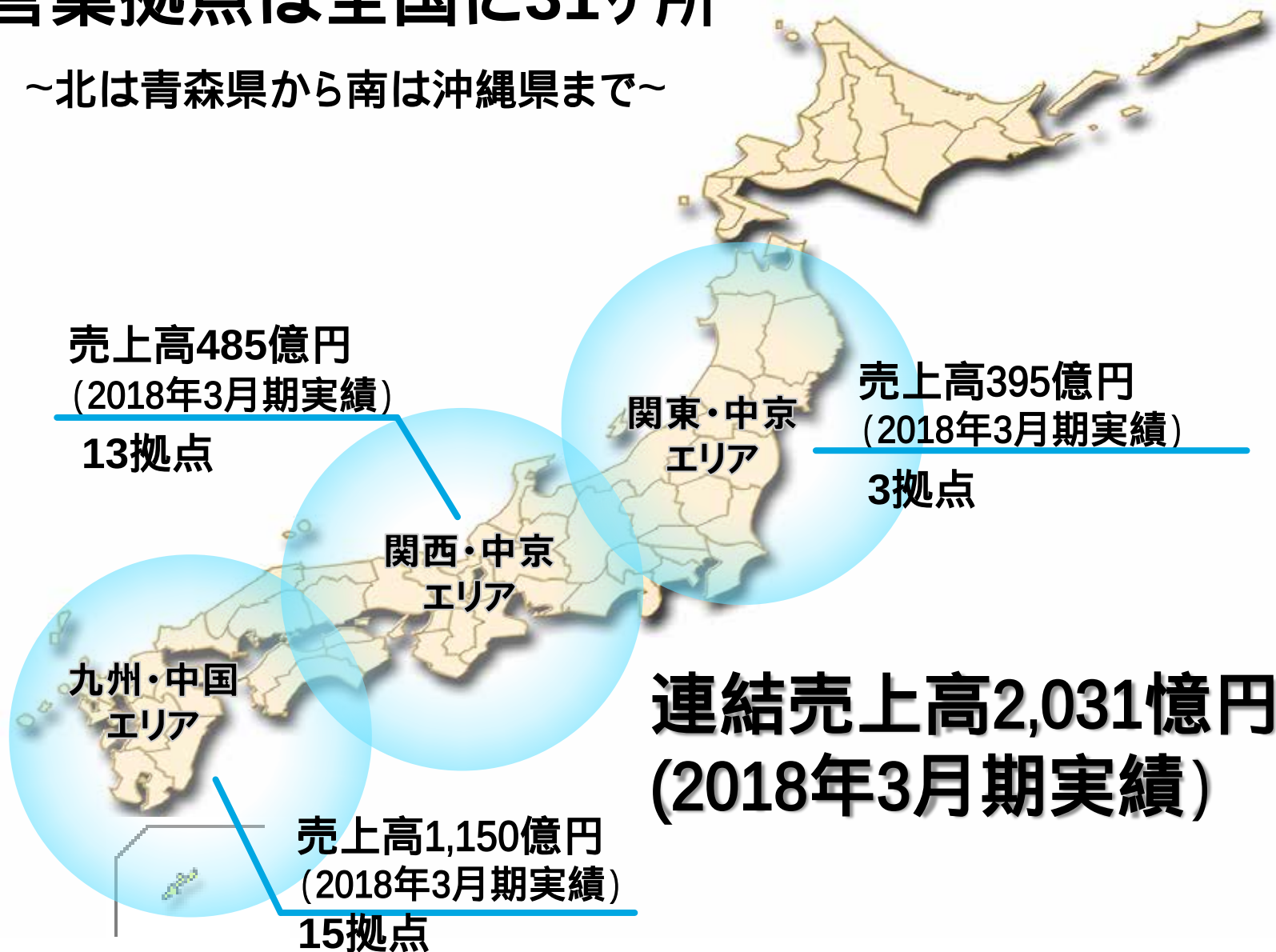
小野建株式会社 本社・小倉支店



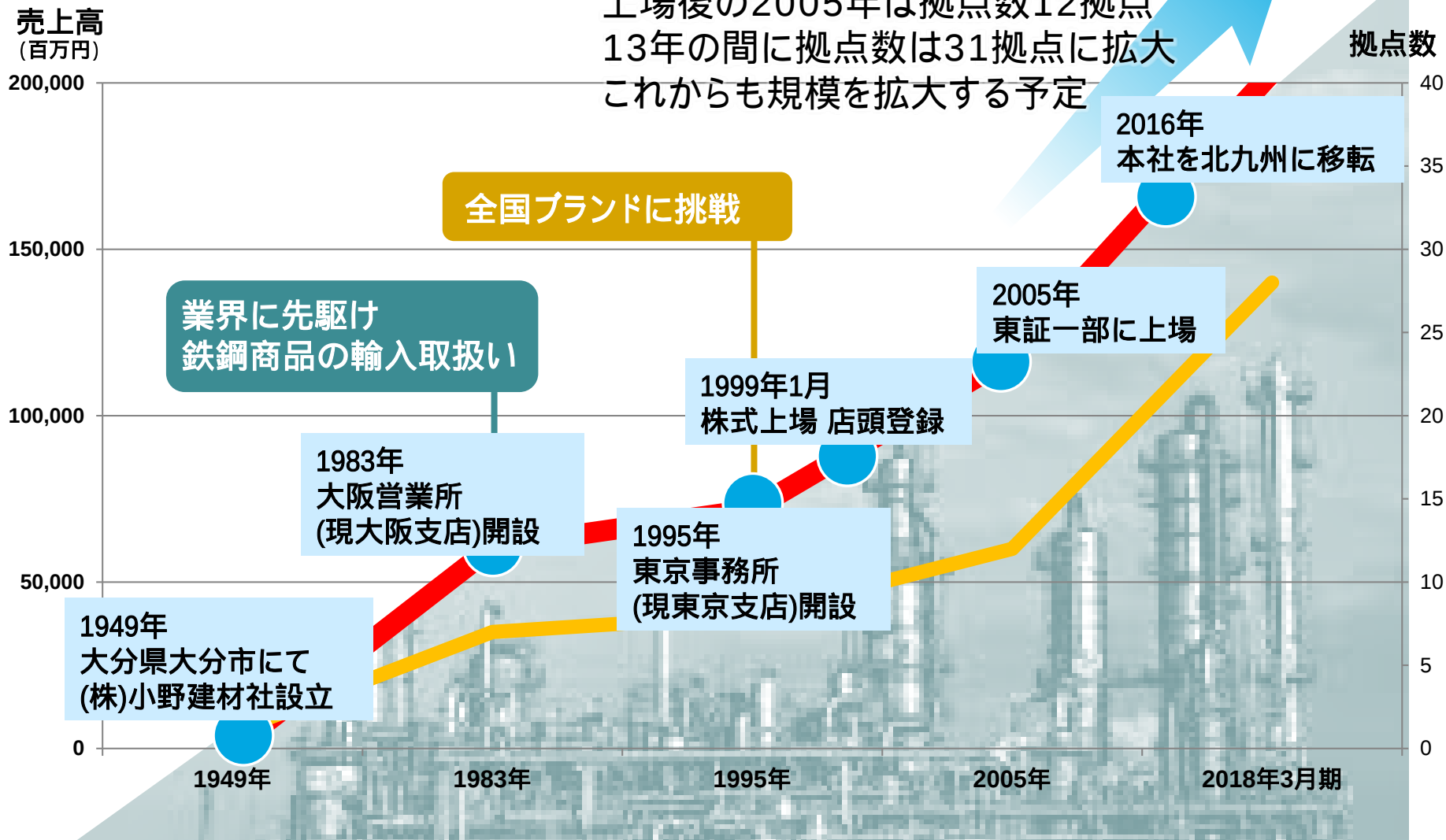
小倉支店 倉庫内

営業拠点は全国に31ヶ所

～北は青森県から南は沖縄県まで～



小野建の歩み



取扱い品種

鋼板

鉄を板状にしたもの
工事現場の敷板等に使われる



鉄鋼商品

条鋼

型鋼とも呼ばれ、色々な形に
成形したもの
建物の骨組等に使われる

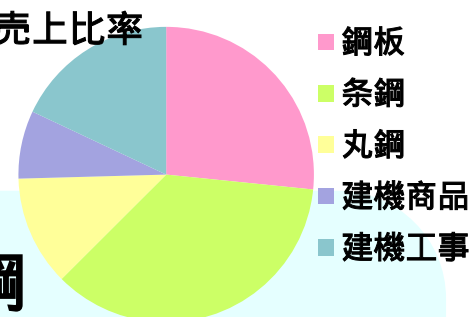


丸鋼

鉄を丸い棒状にしたもの
建物の基礎等に使われる



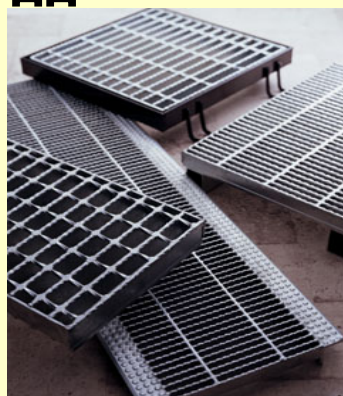
売上比率



建機商品

建物を建てるのに
使用される材料
屋根・フェンス・サッシ
等がある

写真は溝の蓋に使用
するグレーチング



建機工事

鉄骨工事
屋根工事
外壁工事
サッシ工事など



鉄の使用例



建築工事現場1



建築工事現場2



産業・建設機械



造船



橋梁



プラント

福岡での納入実績



商品の流れ

メーカー

新日鐵住金・JFE・大阪製鐵・共栄製鋼・東京製鐵
POSCO(韓国)・宝山鋼鐵(中国) 等主要国内外各社

従来の流れ

商社・流通商社

総合商社 専門商社  小野建

新しい流れ

 小野建

商 社



1次加工

切断
穴あけ
曲げ

素材販売から加工品販売へ

ユーザー

建設関連



造船



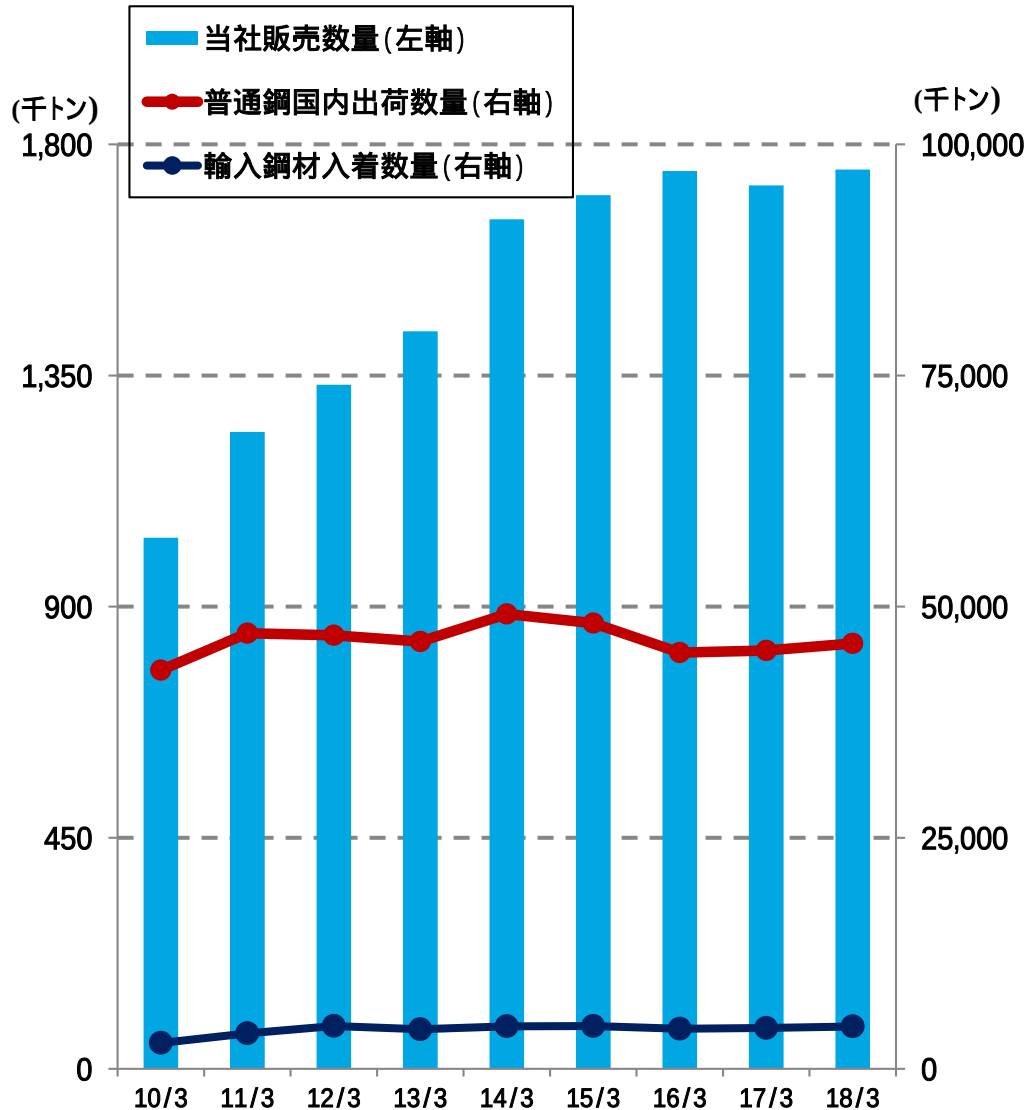
産業・建設機械



当社所有の物流センター



小野建の市場占有率



日本鉄鋼連盟資料より当社作成

【市場との比較】

- 普通鋼国内出荷数量は、近年横ばいの傾向にある中、当社の販売数量は順調に増加
- 全国の特約店約700社の中でトップシェアながら現在3%程度
今後もエリアを拡大し、販売数量を伸ばす

市場は縮小していくことが予想されるが、

小野建の強みを活かして
生き残りへ

基本事業戦略

販売エリアの拡大とシェアの向上

地域密着型の営業展開

- 各地それぞれのニーズに対応し、取扱い品種を変化させる
- 鉄鋼商品だけでなく工事を含む建材部門も含め多様な販売先を持つ
- ヤードの点在化により、需要地までの近距離化
- 小口需要に対応する在庫・配送体制の強化(自社小型トラック等の配置)
- 工事請負業務の拡大

物流センターを活用した多品種構成

- マーケットが縮小しているなか、鋼材のダム機能としての役割を拡充
- ユーザー直結の川下戦略を徹底し、販売先数を拡大
- 鉄鋼流通業界において、豊富な在庫を持って商売を行うことは大きな強み
- ヤード内に加工設備を充実し、付加価値の向上

利益率向上

国内外を問わない柔軟な仕入ソース

- 独立系であり販売力があることが国内メーカーとの関係強化に結実
- 30年来培った輸入鋼材活用のノウハウは大きな特長

2019年3月期の動向

鉄鋼市況の動向

- メーカーの値上げ圧力は継続しているものの、スクラップなどの原材料価格が乱高下しており、鉄鋼市況は強含みながら不透明感がある
メーカー値上相当分の価格転嫁には時間がかかっており、利益率の低下が見込まれる
- 中国など海外情勢により、原材料ならびに商品市況に影響を及ぼす恐れ

需要の動向

- 地域差はあるものの、需要環境は概ね好調に推移しており、今後も継続的に増加の見込み
主な需要用途
公共工事…災害復旧(土木、建築共)、橋梁補修補強、インフラ整備
民間工事…物流センター、大型ショッピングモール、ホテル、病院
その他…プラントの整備、産建機の需要拡大

供給の動向

- メーカーサイドの商品供給納期が長期化しており、タイト感が拡大
- 工務関係者(工事管理者・職人など)の不足により工事遅延が発生

2019年3月期 第3Qの状況と今後の見通し

(百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
2018年3月期 第3四半期	146,678	13,940	5,047	5,205	3,568
2019年3月期 第3四半期	169,055	15,004	4,567	4,706	3,207
2019年3月期 通期計画	226,267	19,837	6,450	6,592	4,653

- 売上高は順調に対前年、対予算比ともに上回るものの、貸倒懸念債権の発生により貸倒引当金が7億5千万円増加したことにより営業利益以下は減益
- 今後も、市況・需用ともに好調に推移する見込みで、受注状況も堅調に推移している

損益計算書(連結)

(百万円)

	17/3期 3Q実績	18/3期 3Q実績	19/3期 3Q実績	前年比増減率	19/3期 通期計画	前年比増減率
売上高	125,174	146,678	169,055	+ 15.3 %	226,267	+ 11.4 %
売上原価	113,309	132,737	154,051	+16.1 %	206,430	+ 12.2 %
売上総利益	11,865	13,940	15,004	+7.6 %	19,837	+ 3.2 %
販売費及び一般管理費	8,536	8,893	10,436	+17.4 %	13,387	+ 9.4 %
営業利益	3,328	5,047	4,567	9.5 %	6,450	7.6 %
営業外収益	229	220	207	5.9 %	232	23.2 %
営業外費用	66	62	69	+11.3 %	90	2.2 %
経常利益	3,490	5,205	4,706	9.6 %	6,592	8.3 %
特別利益	123	94	207	+120.2 %	137	66.0 %
特別損失	242	28	1	96.4 %	2	99.4 %
税引前当期純利益	3,372	5,270	4,912	6.8 %	6,727	7.3 %
法人税・住民税及び事業税	1,079	1,702	1,704	+0.1 %	2,074	7.1 %
親会社株主当期純利益	2,292	3,568	3,207	10.1 %	4,653	7.4 %

セグメント別業績推移(連結)

(百万円)

		17/3期 3Q実績	17/3期 実績	18/3期 3Q実績	18/3期 実績	19/3期 3Q実績	19/3期 計画
九州・中国 エリア	売上	69,712	101,609	81,400	115,041	91,744	123,699
	利益	2,203	3,447	3,008	4,207	2,984	4,482
関西・中京 エリア	売上	30,458	40,597	36,540	48,571	43,101	58,823
	利益	445	773	1,056	1,337	1,015	949
関東・東北 エリア	売上	25,002	34,154	28,737	39,538	34,209	43,745
	利益	689	1,189	981	1,427	572	1,019

売上高は「外部顧客への売上高」を記載

貸借対照表(連結)

主要項目のみ記載しております

(百万円)

	18/3期 実績	19/3期 3Q実績	増減	増減率
流動資産	95,041	107,666	+12,625	+13.3%
固定資産	50,408	49,847	561	1.1%
資産合計	145,449	157,513	+12,064	+8.3%
流動負債	78,299	88,955	+10,656	+13.6%
固定負債	2,268	2,091	177	7.8%
負債合計	80,568	91,047	+10,479	+13.0%
純資産合計	64,881	66,466	+1,585	+2.4%
負債・純資産合計	145,449	157,513	+12,064	+8.3%

自己資本比率

44.6 %

42.2 %

株主還元・株価指標について

着実な利益 = 着実な配当

- 配当性向30%を原則に安定かつ高水準の利益還元を継続的に行う
- 中間配当制度を活用し、9月末日、3月末日の年2回、株主の皆様への配当を実施
- 70周年記念配当の実施
(中間5円・期末5円)

実績PBR(純資産倍率) → 0.49倍

予想PER(株価収益率) → 6.93倍

予想配当利回り → 5.02%

数値は株価 1,495円(3/14終値)をベースとして

